


【AIRC Mail Magazine】

第479号(2022年4月1日発行)

***** (一財)旭川産業創造プラザ)

■Contents:

◇(一財)旭川産業創造プラザからのお知らせ◇

1. 「あさひかわBizCafe」4/21(木)セミナー
2. 4/18開催一般財団法人 旭川産業創造プラザ 各種制度説明会
3. 旭川食品産業支援センターセミナー
「高齢者向け食品の開発～柔らか食品と健康機能食品の開発～」
4. 旭川食品産業支援センターセミナー
野菜の活用セミナー ～地元の野菜を活かした商品開発！～
5. 旭川食品産業支援センターセミナー
「見えないもの見える化する 食の安全管理のポイント」
6. 旭川食品産業支援センターから食品試験予定日のお知らせ
7. 連載「HACCP導入、運用のコツ(48)」
旭川食品産業支援センター長 浅野 行蔵

◇関係機関からのお知らせ◇

8. 6/3(金)締切 小規模事業者持続化補助金(一般型)
9. 5/11締切 令和元年度補正・令和3年度補正 ものづくり・商業・サービス
生産性向上促進補助金10次締切
10. 6/30締切「事業再構築補助金」第6回公募開始
11. 5/18締切 中小・小規模企業新事業展開・販売促進支援補助金

1. 「あさひかわBizCafe」4月21日のお知らせ

起業に必要な知識やノウハウを学ぶ、創業セミナー「あさひかわBizCafe」を開催します。WEB開催ですので、お手持ちのPCやスマホから参加ができます！お申し込みがまだという方、ぜひ当財団HPからお申込みください。

■日時、内容

2022年4月21日(木) 18:30から

「夢をかたちにする創業術、創業の心がまえとスケジュール」(経営)
中小企業診断士事務所オフィス後藤経営 中小企業診断士 後藤直樹様

後藤様は、北雄ラッキー株式会社、株式会社ローソン、株式会社サンクスアンドアソシエイツ(現ファミリーマート)を経て、1997年に「中小企業診断士事務所オフィス後藤経営」を設立。小売分野を専門業種とされ、マーケティングを中心に、各業種の企業経営全般に幅広く対応されているほか、創業に関してもあさひかわ商工会 創業スクールなどの道内の各地でセミナー、講演などを行われております。

後藤様にあさひかわビズカフェでご講演頂くのは初めてとなります。年度のはじめに、創業・起業について今一度見つめなおすヒントがいただけると思います。お申し込みがまだという方は、ぜひ当財団HPからお申込みください。

■主催

(一財)旭川産業創造プラザ

■申込入力フォーム

<http://m2.arc-net.or.jp/contact/>

■WEB開催について

申込者が、ご自身のPCやスマートフォンで視聴
※質問コーナー、交流会、資料配布はございませんのでご了承願います。

■対象

- ・起業準備中の方、近い将来起業を考えている方、起業間もない方、起業に関心のある方、事業承継する予定の後継者の方、第2創業、新分野進出を検討中の方。
- ・年齢、性別、国籍、職業問わずどなたでも！（高校生、大学生も可）

■お問合せ先

一般財団法人 旭川産業創造プラザ
TEL 0166-73-9210
FAX 0166-68-2828
Email bizcafe@arc-net.or.jp

■2022年度のスケジュールはこちら↓

<https://www.arc-net.or.jp/variousupport/bizcafe/>

チラシ（FAX申込書）はこちら↓よりダウンロードしてお使いください。
https://www.arc-net.or.jp/data/variousupport/bizcafe_2022_01.pdf

2. 4/18開催一般財団法人 旭川産業創造プラザ 各種制度説明会

旭川産業創造プラザでは、各種補助金などの各機関が実施している施策についての説明会を開催いたします。
どのような施策があるかお知りになりたい方、申請をご検討されている方は是非ご参加ください。

■主旨

2022年度に実施が予定されている各種支援施策等についての説明会

■開催日時

4月18日(月) 13:00-17:15

■開催方法

ZOOMによるオンライン開催（開催前日までにURL及び入室パスを送信）

■申込方法

【社名・所属・役職】【参加者氏名】【電話番号】【メールアドレス】を記載の上【オンライン制度説明会参加希望】の旨を記し、下記アドレスあてにEメールを送信してください。

■メールアドレス

seminar@arc-net.or.jp

■プログラム

- 1 ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金（13:10-13:40）
- 2 サービス等生産性向上IT導入補助金（13:40-14:00）
- 3 事業再構築補助金（14:00-14:25）
- 4 エネルギー利用最適化推進事業 先進的省エネルギー投資促進支援事業費補助金（14:25-14:40）
- 5 成長型中小企業等研究開発支援事業（Go-Tech事業）※旧サポイン

(14:40-15:10)

6 小規模事業者持続化補助金 (15:10-15:25)

休憩 (15:25-15:35)

7 中小企業競争力強化促進事業 北海道中小企業新応援ファンド事業
中小企業等外国出願支援事業 地域課題解決型企业支援事業
(15:35-16:10)

8 先端設備等導入計画 (固定資産税特例) 経営力向上計画 (中小企業経営強化税制)

事業継続力強化計画 (中小企業防災・減災投資促進税制)
(16:10-16:45)

9 研究開発助成事業 (夢づくりものづくり支援事業助成金)
人材育成助成事業 (16:45-17:10)

■チラシ

<https://www.arc-net.or.jp/wpb/wp-content/uploads/2022/03/20220421.pdf>

■お問合せ先

一般財団法人 旭川産業創造プラザ
TEL 0166-73-9210
FAX 0166-68-2828
seminar@arc-net.or.jp

3. 旭川食品産業支援センターセミナー

「高齢者向け食品の開発～柔らか食品と健康機能食品の開発～」

手軽に食品にプラスできる栄養豊富な食品の紹介と最近注目の赤ビートについてのお話です。

加齢とともに食事量が減少するとサルコペニア (筋肉量減少) やフレイル (虚弱) の原因となりやすく、その為、効率の良い栄養補給が必要となる事から市場ニーズは拡大しています。

今回は、タンパク質や脂肪の栄養価についても解説。赤ビートの基礎研究や健康機能性についてのお話から、高付加価値な商品開発を考える時のヒントになればと思います。

■視聴方法 YouTube配信

(申込み後、URLをメールで送付します。)

■講師

藤女子大学 名誉教授・農学博士 知地 英征 氏
(農林水産省 産学連携支援コーディネーター等)

～プロフィール～

知地先生は、これまで食品成分の生体内機能性の評価と吸収動態を研究されており、北海道内の食品関連企業との共同研究を通じて、食品の機能性や加工特性についての高度な技術と知見を蓄積しております。大学をご退職後も研究を続けられており、知的好奇心旺盛な、まさに「研究者」です。

■チラシ

<https://www.arc-net.or.jp/wpb/wp-content/uploads/2022/03/chirasisyoku.pdf>

■お問合せ・お申込み

旭川食品産業支援センター (旭川産業創造プラザ内)

TEL : (0166) 68-2824

FAX : (0166) 68-2828

E-mail : fosup@arc-net.or.jp

4. 旭川食品産業支援センターセミナー 野菜の活用セミナー ～地元の野菜を活かした商品開発！～

現在旭川市近郊で栽培されている野菜をうまく活かしていますか？
食材の特徴を把握したうえで、長所を活かした加工を施せば、更にその価値が高まります。
また、特徴的な野菜も、一次加工を施すことで使いやすくなり、「定番の野菜」となる可能性もあります。
地元野菜を使った商品開発のヒントになる、「知って得する」情報満載です！

- 視聴方法 YouTube配信
(申込み後、URLをメールで送付します。)
- 講師 上川農業試験場技術普及室
主任普及指導員(農業革新支援専門員)
高田 勲 様
(野菜ソムリエPro 野菜ソムリエ養成講座講師)

- チラシ <https://www.arc-net.or.jp/wpb/wp-content/uploads/2022/03/3%E3%80%80.pdf>

- お問い合わせ・お申し込み
連絡先：旭川食品産業支援センター（旭川産業創造プラザ 内）
TEL：(0166)68-2824 FAX：(0166)68-2828
E-mail：fosup@arc-net.or.jp

5. 旭川食品産業支援センターセミナー 「見えないもの見える化する 食の安全管理のポイント」

安全で安心な商品を提供するために、微生物などの基本的な知識や簡易的に行うことができる検査方法を知り、安全性を向上させるためのノウハウや情報を習得しませんか？

- 視聴方法
YouTube配信(申込み後、URLをメールで送付します。)

■講師

第1部

- 1) 安全な食品を提供するための微生物の知識
講師：旭川食品産業支援センター センター長 浅野 行蔵
- 2) 食物アレルギーの簡易検査の紹介と活用事例
講師：株式会社森永生科学研究所

第2部

- 1) 簡易的な食品微生物検査の紹介とそれぞれの感性
講師：関東化学株式会社
- 2) ATP検査の基本的な知識と活用方法
講師：キッコーマンバイオケミファ株式会社

- チラシ <https://www.arc-net.or.jp/wpb/wp-content/uploads/2022/03/4.pdf>

- お問い合わせ・お申し込み
連絡先：旭川食品産業支援センター（旭川産業創造プラザ 内）
TEL：(0166)68-2824 FAX：(0166)68-2828
E-mail：fosup@arc-net.or.jp

6. 旭川食品産業支援センターから食品試験予定日のお知らせ

今月の食品試験予定日は

4月4日（月）、11日（月）、18日（月）、25日（月）です。

利用される場合は、必ず事前にご連絡ください。

<注意点>

1、当センターの試験は、自主試験を代行するものであり、公的証明を行うものではありません。

公的証明書をご希望の方は、旭川市保健所等の検査機関をご利用ください。

2、試験の受託範囲は、旭川市、鷹栖町、東神楽町、当麻町、比布町、愛別町、上川町、東川町、美瑛町の1市8町に所在する食品事業者様が製造・販売する商品（加工食品）となります。

連絡先：旭川食品産業支援センター（旭川産業創造プラザ 内）

電話 0166-68-2824

7. 連載「HACCP導入、運用のコツ(48)」

旭川食品産業支援センター長 浅野 行蔵

「厚労省の用語の『衛生管理』は、「食品の安全管理」と読み替える、その2」

「HACCPの考え方を取り入れた衛生管理」の実施にあたって、「どんな清掃を行えば良いのか？困ってしまうと！」困惑の声をもらいました。昨年10月にも書きましたが、厚労省の用語「衛生管理」は「食品の安全管理」と読み替えないと意味が通じません。厚労省は内閣府の食品安全委員会に遠慮したのか、食品の安全、という用語は使わないのです。あれもこれもみんなひっくるめて「衛生管理」と書くので国民には伝わらないのです。

小企業でも一番売れている食品について、HACCPの順序に従って手順1～5まで作業を進めて、手順6＝原則1の「心配事のリストアップと処置の決定」を行い、次に原則2（勘所はどこ）と原則4（勘所での測定法）を決めましょう。ここまで出来れば、HACCP導入ができたと胸を張りましょう。

8. 6/3（金）締切 小規模事業者持続化補助金（一般型）

■事業概要

小規模事業者および一定要件を満たす特定非営利活動法人（以下「小規模事業者等」といいます。）が今後複数年にわたり相次いで直面する制度変更（働き方改革や被用者保険の適用拡大、賃上げ、インボイス導入等）等に対応するため、小規模事業者等が取り組む販路開拓等の取組の経費の一部を補助することにより、地域の雇用や産業を支える小規模事業者等の生産性向上と持続的発展を図ることを目的とします。

本補助金事業は、小規模事業者自らが作成した持続的な経営に向けた経営計画に基づく、地道な販路開拓等の取組（例：新たな市場への参入に向けた売り方の工夫や新たな顧客層の獲得に向けた商品の改良・開発等）や、地道な販路開拓等と併せて行う業務効率化の取組を支援するため、それに要する経費の一部を補助するものです。

■募集内容

対象者：小規模事業者
補助額：上限50～200万円
補助率：2/3 ※2補助対象：チラシ作成、広告掲載、店舗改装など

■申請受付開始
2022年3月29日（火）

■公募期間
第8回受付締切：2022年6月3日（金） [郵送：締切日当日消印有効]

■公募要領
全国商工会連合会 https://www.shokokai.or.jp/jizokuka_r1h/
日本商工会議所 <https://r3.jizokukahojokin.info/index.html>

9. 5/11締切 令和元年度補正・令和3年度補正 ものづくり・商業・サービス
生産性向上促進補助金10次締切

全国中小企業団体中央会は、中小企業等のグリーン、デジタルに資する革新的
製品・サービスの開発又は生産プロセス等の改善に必要な設備投資等を支援する
とともに、赤字など業況が厳しい中で生産性向上や賃上げ等に取り組む事業者を
支援する、ものづくり補助金の公募を開始しました。
なお、今回の10次締切分からは、資本金10億円未満の「特定事業者」を補助対象
事業者に加えると同時に、通常枠とは別に、補助率や補助上限額を引き上げた
「回復型賃上げ・雇用拡大枠」、「デジタル枠」、「グリーン枠」を新たに設け、
積極的に支援します。

■募集内容
対象者：中小企業者、特定事業者の一部および一定要件を満たす特定非営利活動法
人
補助率：補助対象経費の2分の1又は3分の2以内

■補助上限額
通常枠、回復型賃上げ・雇用拡大枠、デジタル枠
：従業員規模により750万円、1,000万円、1,250万円
(活用イメージ)

- ・IoTやセンサー技術を活用した製品開発のために製品機械を新たに導入
- ・受発注や在庫管理の電子化するため、専用システムを新たに導入

グリーン枠：従業員規模により1,000万円、1,500万円、2,000万円
(活用イメージ)

- ・省エネ・環境性能に優れた新製品開発のため、機械と専用システムを新たに導入
- ・労働生産性向上を伴いつつ脱炭素につながる製造設備の導入

グローバル展開型：3,000万円

補助要件：以下の基本要件を全て満たす3～5年以内の事業計画を策定・実行し、
各枠の要件に該当するものであること。

- ・付加価値額 +3%以上/年
- ・給与支給総額 +1.5%以上/年
- ・事業場内最低賃金≧地域別最低賃金+30円

■公募期間
通年で公募を実施しており、現在は10次締切分を公募しています。
【10次締切分】2022年2月16日（水）17:00～5月11日（水）17:00

■お問い合わせ先
ものづくり補助金事務局サポートセンター

電話番号：050-8880-4053

受付時間：10:00～17:00（土日祝日および12/29～1/3を除く）

<https://portal.monodukuri-hojo.jp/index.html>

10. 6/30締切「事業再構築補助金」第6回公募開始

■※電子申請にあたっては、GビズIDの取得が必要です。

新分野展開や業態転換、事業・業種転換等の取組、事業再編又はこれらの取組を通じた規模の拡大等を目指す企業・団体等の新たな挑戦を支援する「事業再構築補助金」の第6回公募が開始されました。

■HP↓

<https://jigyousaikouchiku.jp/>

※申請には、「GビズIDプライムアカウント」の取得が必要です。

取得未了の方は、あらかじめGビズIDプライムアカウント取得手続きを行ってください。<https://gbiz-id.go.jp/top/>

■事業再構築の指針の手引き（重要）

https://jigyousaikouchiku.go.jp/pdf/shishin_tebiki.pdf

■【公募期間】

公募開始：令和4年3月28日（月）

申請受付：令和4年5月下旬～6月上旬予定

応募締切：令和4年6月30日（木）18:00

■主要申請要件 補助額等

6次公募は、5次公募から変更点がおおくあります。

くわしくは公募要領をご確認ください。

<https://jigyousaikouchiku.go.jp/pdf/koubo006.pdf>

■補助金額 [通常枠]

中小企業者等、中堅企業等とともに

【従業員数20人以下】100万円～2,000万円

【従業員数21～50人】100万円～4,000万円

【従業員数51人～100人】100万円～6,000万円

■補助率 [通常枠]

中小企業者等 2/3（6,000万円を超える部分は1/2）

中堅企業等 1/2（4,000万円を超える部分は1/3）

11. 5/18締切 中小・小規模企業新事業展開・販売促進支援補助金

道では、感染症の影響による消費行動や企業活動の変化に対応するため、道内の中小・小規模企業が行う、新分野展開や販売促進など新たな取組を支援する補助金制度を創設し、2022年4月1日から申請受付を開始しました。

■申請区分等

「新事業展開枠」と「販売促進枠」のどちらかを選択いただき、1事業者1回限りの申請となります。

○新事業展開枠 販売促進枠

取組内容

- ・新分野展開、事業転換、業種転換
- ・新商品の開発または生産

- ・新役務の開発または生産
- ・商品の新たな生産または販売の方式
- ・役務の新たな提供方式の導入
- ・販路開拓等の取組
- ・販促活動の取組

○補助金額 50万円～100万円
 ※最低事業費75万円（税抜） 上限30万円

○補助率 2/3以内 2/3以内
 その他 国の事業再構築補助金との併給不可
 国の小規模事業者持続化補助金との併給不可

■売上要件

2020年4月以降の連続する6か月のうち、任意の3か月の合計売上高が、
 コロナ以前、2019年1月1日から2020年3月31日の同3か月の合計売上高と
 比較して10%以上減少していること

■申請の手引き

[https://www.pref.hokkaido.lg.jp/fs/5/6/8/7/7/2/5/_/_\(%E4%BF%AE%E6%AD%A3\)%E3%83%81%E3%83%A3%E3%83%AC%E3%83%B3%E3%82%B8%E8%A3%9C%E5%8A%A9%E9%87%91%20%E7%94%B3%E8%AB%8B%E7%AD%89%E3%81%AE%E6%89%8B%E5%BC%95%E3%81%8D0330\(HP%E7%94%A8\).pdf](https://www.pref.hokkaido.lg.jp/fs/5/6/8/7/7/2/5/_/_(%E4%BF%AE%E6%AD%A3)%E3%83%81%E3%83%A3%E3%83%AC%E3%83%B3%E3%82%B8%E8%A3%9C%E5%8A%A9%E9%87%91%20%E7%94%B3%E8%AB%8B%E7%AD%89%E3%81%AE%E6%89%8B%E5%BC%95%E3%81%8D0330(HP%E7%94%A8).pdf)

■公募スケジュール

2022年4月1日(金)～2022年5月18日(水)
 (6月上旬に審査結果を通知予定)

■問合せ先

<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/kz/csk/shinjigyotenkai-hojyokin.html?fbclid=IwAR0k5hJiG3Uu-p6QgpcNYNHDm9lVbiM096urNmtWHNogGcEsR4mtpqks0f4>
 中小・小規模企業新事業展開・販売促進支援補助金 事務局
 011-804-2385
 対応時間 午前9時30分から午後5時30分まで
 (※2022年4月1日～ 平日のみ)

★ AMMコラム ★

■今日から4月、新年度のスタートです。私が旭川産業創造プラザに配属になって3年目を迎えました。この2年間を振り返ってみると、2年前に配属となる直前に全国の小中高等学校等の一斉休校に始まり、緊急事態宣言やまん延等防止措置が実施され、これらによる飲食店等への休業要請など、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって社会全体が大きく振り回されてきた2年間であったと言う感想です。

■新型コロナウイルス感染症は、依然道内で毎日2千人前後の新規感染者が発生しており、まだまだ油断できない状況ではありますが、先月には北海道を始め全国に適用されていたまん延防止措置が解除され、徐々に経済活動の回復が進んでいくことが期待されています。

■当財団や旭川食品産業支援センターも、この2年間は新型コロナウイルス感染症の影響で思うような活動ができない場面も多々ありましたが、今年度はより多くの現場を訪問し、事業者の皆様のサポートをしていきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願いたします。

(y_a)

※これまでいただきましたお名刺や、セミナーへの出席申し込みなどにより
いただきましたE-Mailアドレスをもとにお送りしています。

#. メールマガジン配信先変更・購読中止について

●お届けするE-Mailアドレスの変更や購読解除は次のところから行ってください。

<https://www.arc-net.or.jp/arc-net/mailmagazine/formoff.html>

★*☆*★*☆*★*☆*★*☆*★*☆*★*☆*★*☆*★*☆*★

一般財団法人 旭川産業創造プラザ

〒078-8801 北海道旭川市緑が丘東1条3丁目1番6号

旭川リサーチパーク内

Tel:0166-68-2820 Fax:0166-68-2828

H P:<https://www.arc-net.or.jp/>

E-mail:arc-net@arc-net.or.jp

★*☆*★*☆*★*☆*★*☆*★*☆*★*☆*★*☆*★*☆*★